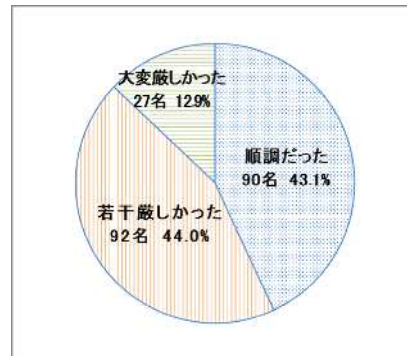


当協会が主催する「新入社員合同研修」の参加者を対象に、2012 年より「新入社員意識調査」を実施している。今回は参加者 210 名（45 社より男性 145 名、女性 65 名）のうち 209 名から回答を得た。（調査日：2018 年 4 月 4 日）

就職活動を振り返って「順調だった」が就職売り手市場を反映して、調査開始以来最高の 43.1%となった。今の就職先でいつまで働くかの問いに「定年まで」が 48.8%と 2 年連続で 50%を割り込み、27.3%の方が「いずれ今の就職先を離れる」と回答。また、仕事とプライベートについては、74.2%の方が「プライベート優先」などと回答した新入社員意識調査結果を取りまとめた。

問 1 . 就職活動を振り返って

「順調だった」が 90 名(43.1%)と、就職売り手市場を反映して、2 年連続で調査開始以来最高となった。一方、「若干厳しかった」は 92 名(44.0%)とほぼ例年どおりの割合だったが、「大変厳しかった」27 名(12.9%)は調査開始以来一番低い割合となった。



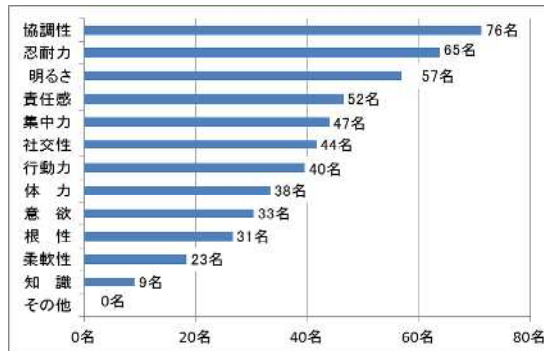
問 2 . 就職先を選ぶ際に重視した点は？(3 つまで選択可)

「業種・業務内容」が 148 名と最も多く、7 年連続のトップ。以下やや差があって「勤務時間・休暇」74 名、「給料」58 名、「規模・安定性」55 名等が続いている。調査開始時の「勤務時間・休暇」は 8 番目であったが、近年、就職先選定の重要項目となってきている。



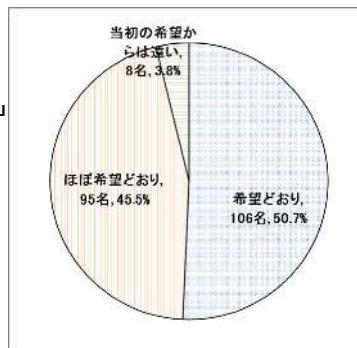
問 3 . 社会人としての自身のセールスポイントは？(3 つまで選択可)

「協調性」76 名、「忍耐力」65 名、「明るさ」57 名、「責任感」52 名の 4 項目が 50 名以上であった。次に「集中力」、「社交性」、「行動力」などが続いている。



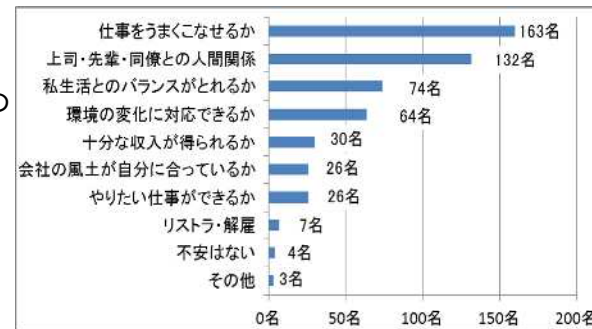
問 4 . 就職した企業は？

「希望どおり」が 106 名(50.7%)、「ほぼ希望どおり」が 95 名(45.5%)の回答であった。両者を合わせると 201 名(96.2%)であり、調査開始以来最高となった。一方、8 名(3.8%)が「当初の希望からは遠い」と回答したが、調査開始以来最低であった。



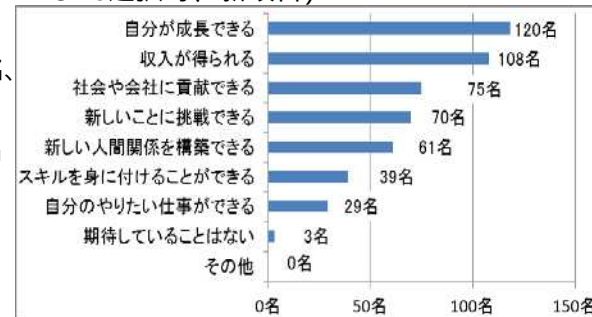
問 5 . 社会人生活に対する不安(3 つまで選択可、新項目)

「仕事をうまくこなせるか」が 163 名、「上司・先輩・同僚との人間関係」132 名と、仕事と人間関係に対する不安が多くなっている。「不安はない」は 4 名だけであった。



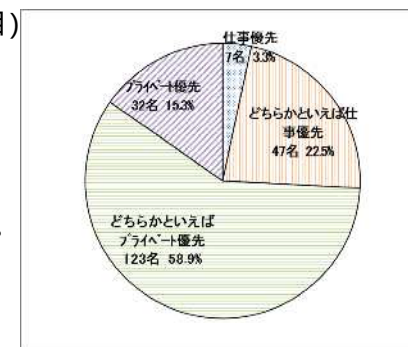
問 6 . 社会人生活での期待(3 つまで選択可、新項目)

「自分が成長できる」が 120 名、次いで「収入が得られる」108 名、「社会や会社へ貢献できる」75 名、「新しいことに挑戦できる」70 名、「新しい人間関係を構築できる」61 名、「スキルを身に付けることができる」39 名、「自分のやりたい仕事ができる」29 名などが続いている。



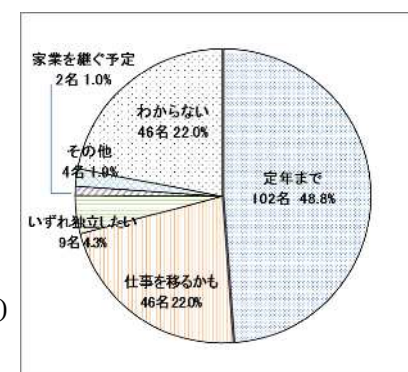
問 7 . 仕事とプライベートについて(新項目)

「どちらかといえばプライベート優先」が 123 名(58.9%)と圧倒的に多く、「プライベート優先」の 32 名(15.3%)の合計では 74.2%の新入社員がプライベートを優先したいと考えている。「仕事優先」と回答したのは 7 名(3.35%)であった。



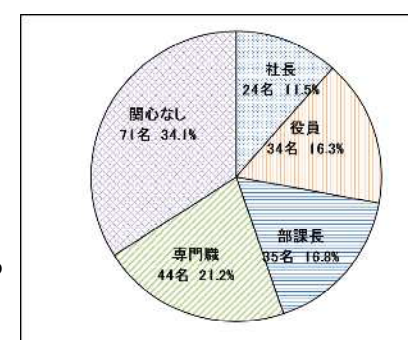
問 8 . 今の就職先でいつまで働こうと思いますか？

「定年まで」が 102 名(48.8%)で最も多かったが、2 年連続で 50%を割り込む回答となった。一方、「仕事を移るかも」が 46 名(22.0%)と続いている。「仕事を移るかも」「いずれ独立したい」「家業を継ぐ予定」を加えると 57 名(27.3%)が今の就職先を「いずれ離れる」としている。



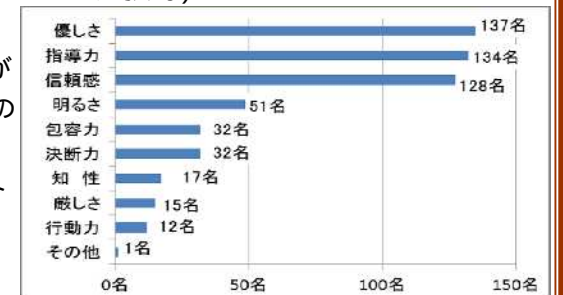
問 9 . 自身の昇進について、どこまで目指しますか？

「昇進にあまり関心がない」が 71 名(34.1%)で最も多く、以下「専門職」44 名(21.2%)、「部課長」35 名(16.8%)、「役員」34 名(16.3%)と続いている。「社長」は 24 名(11.5%)で最も少なかったが、7 年ぶりの 10%超過で、調査開始以来最高の割合であった。



問 10 . 上司に求めるものは？(3 つまで選択可)

「優しさ」が 137 名で最も多く、次が「指導力」134 名、「信頼感」128 名の 3 項目が例年どおり多かった。「優しさ」は調査開始以来初めてのトップとなった。

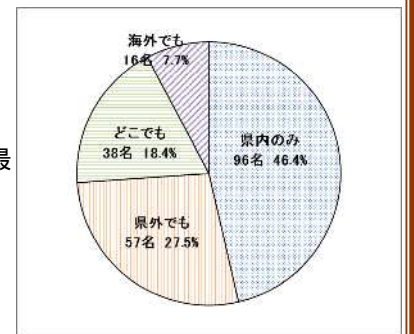


問 11 . 理想の上司は有名人にたとえると誰ですか？

具体的に有名人の名前を記載した回答者 112 名から、有名人 68 名の名前が挙がった。最も多い回答が「明石家さんま」で 7 名、続いて「所ジョージ」と「イチロー」が 6 名であった。票数は少ないが「オバマ前大統領」3 名、「トランプ大統領」1 名が興味深い。

問 12 . 働く場所について自分の考えに最も近いのは？

「富山県内でずっと働きたい」が 96 名(46.4%)で最も多く、「富山県内だけでなく県外でも仕事してみたい」が 57 名(27.5%)、「働く場所にはこだわらない」が 38 名(18.4%)で続き、「機会があれば海外でも」は 16 名(7.7%、2 年連続で 5%超)であった。



問 13 . 将来、あなたに海外転勤の打診があったら？

「国・地域しだいで検討する」が 123 名(59.7%)で最も多かった。「断る」は 57 名(27.7%)、「国・地域を問わず赴任する」は 26 名(12.6%)であった。

問 14 . 給料の一部を毎月「家への入金(同居の家計費や親元への仕送り)」に充てますか？

「給料の一部を家へ入金」が 146 名(70.2%)、「未定」が 45 名(21.6%)で続き、「すべて自分で使う」は 17 名(8.2%)であった。

問 15 . 最初の給料で家族にプレゼントをしますか？

「プレゼントすることを考えている」が 146 名(71.2%)で、「特に予定はない」の 59 名(28.8%)を大きく上回り、ほぼ例年並みの回答であった。

問 16 . 日常的な情報収集メディアは？(3 つまで選択可)

スマホ世代を反映して、「携帯・スマホサイト」が 178 名(38.7%)で、4 年連続のトップ。調査開始時 2012 年の割合が 16.0%であったが、飛躍的に伸びている。「テレビ」が 146 名(31.7%)で続き、次いで「PC インターネット」の 67 名(14.6%)が続いている。

